

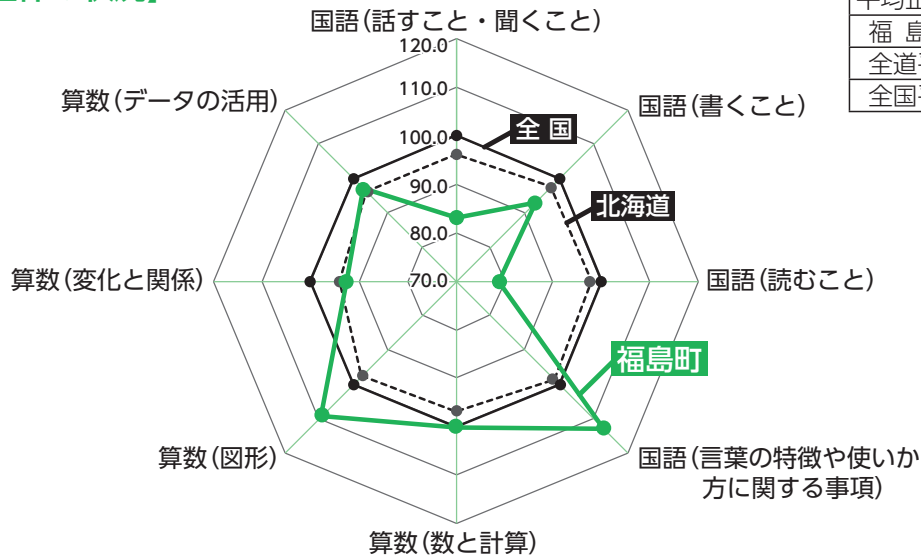
令和4年度 全国学力・学習状況調査

福島町立学校の結果をお知らせします

令和4年4月19日(火)に、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として「令和4年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。福島町の結果についてお知らせします。

■福島小学校の状況(小学校数:1校、児童数:10人)

【教科全体の状況】

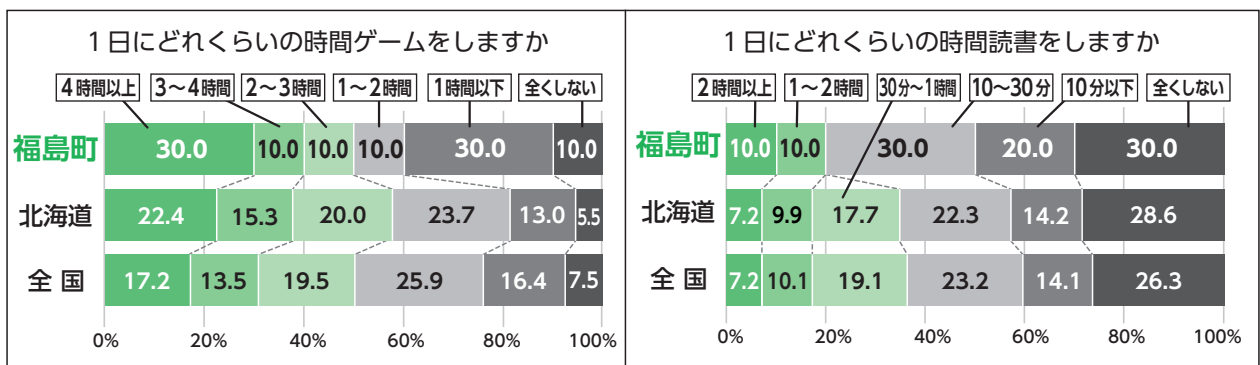


平均正答率	国語	算数
福島町	64	64
全道平均	64	61
全国平均	65.6	63.2

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(福島町の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

国語	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や使い方についての授業をよく行ったことにより、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域で全国平均正答率を上回ったと考えられます。 昨年に引き続き、「読むこと」に課題があり、授業以外での日常的な読書習慣を身に付けさせる取り組みが求められます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 算数の授業において、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行ったことにより、「数と計算」・「図形」の領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられます。 「変化と関係」の領域に課題があり、比例の意味や性質、グラフの求め方などが理解できるよう学習します。
今後の取り組み方策	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識・技能の定着を図るため、計画的な授業改善に取り組みます。 児童が主体的に学び、意欲的に学習に参加することができる授業づくりに取り組みます。 ICT教育を推進するとともに、放課後学習や長期休業中の取り組みを強化します。

【児童質問紙の状況】



- ・福島町で2時間以上ゲームをしている子どもは約5割で、全国と同程度、全道よりも約10%少ない結果でした。
- ・1日の読書時間について、30分以上と答えた児童は約20%で、50%は10分以下という回答でした。国語の「読むこと」が低い結果の原因がかもしれません。